

いっしょに考える。
いっしょに行く。

境界を、 越えよう

日常だったはずの風景が違った景色になる日

あたりまえが変わり始める、私たちのソーシャルワーク

街を歩いていると、誰かが一人で、同じ言葉を繰り返し喋っている。
あなたもどこかで、こんな光景を目にした事があるかもしれない。
何してるんだろ？ 下手に関わらない方がいいんちゃう？ からまれたら怖いし—
黙ってそばを通り過ぎてから、ほっとする。
でもなぜだかちょっと、もやもやする。

障がい者と呼ばれるその人と、私たちの間には、こんな風に見えない線が引かれている。
同じ街に住んで、同じ街に出かけているのに、障がい者の事を知らないし、わからない。そこにある境界線。

でも、その線って誰が引いたんだろう？

本当は、私たちがその人の事を知らないだけかも。
もしかしたら、私たちがスポーツを見たり、音楽を聴くのが好きなように、その人はバスを見るのが好きなだけなのかも。
それでうれしくなって、自然に声が出ただけなのかも。
そして、障がいがある人のそばに、その人がやりたい事をわかる人がいたら？
うまく伝えられない自分の気持ちをわかってくれる誰かが、そばにいたら。
もしかしたら、その人の世界はもっと広がるかもしれない。

ガイドヘルパーは、世の中にあるそんな境界線を越えて、
障がいのある人と社会を繋いだり、橋渡しができる仕事です。
障がいのある人も、私たちと同じように自分だけの広い世界を持っている。
知ろうとしなければ、境界線は引かれたままで、何も変わらない。
でももし、一歩踏み出せば、私たちの世界は、一つに繋がるかもしれない。
ガイドヘルパーって、どんな仕事？ まず、知る事から始めよう。
一緒に、境界を越えよう。

知的障害者
ガイドヘルパー
養成講座



詳細は QR コードより HP トップの
「お知らせ」をご確認ください。

ぽぽんがぽん

検索



社会福祉法人ぽぽんがぽん